

2014年5月26日

第3077号 for Nurses

週刊(毎週月曜日発行)
購読料1部100円(税込)1年5000円(送料、税込)
発行=株式会社医学書院
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
TEL (03) 3817-5694 FAX (03) 3815-7850
E-mail: shinbun@igaku-shoin.co.jp
JCOPIY (創作者著作権管理機構 委託出版物)

New Medical World Weekly

週刊 医学界新聞



医学書院 www.igaku-shoin.co.jp

今週号の主な内容

- [寄稿特集] Sweet Memories (武井麻子, 藤田愛, 卯野木健, 棚田めぐみ, 梅田恵, 阿部まゆみ) 1-3面
[寄稿] チームビルディング力育成プログラム (亀井智子) 4面
[連載] 看護のアジェンダ/第5回日本プライマリ・ケア連合学会 5面
[連載] 量的研究エッセンシャル 6面
MEDICAL LIBRARY 7面

寄稿特集

Sweet Memories

宝物は人生の最初のほうで見つかったらつまらない

先輩ナースに理不尽な怒られ方をしたり、手技がうまくいかずに落ち込んだり。新人ナースの皆さんは今ごろ、不安と緊張の連続ではないでしょうか。でもそんな日々も、いつかは思い出に変わるはず。先輩ナースから、新人ナースにささげる応援歌です。

武井麻子

日本赤十字看護大学教授・精神保健看護学



全てが自己流、モグリの看護師

12 「武井さんは、モグリの看護婦だから」。かつて働いていた精神科病院で、仲の良かった一回り年下の男性准看護師が、私が「看護学校を出ていない」ことをからかって言った言葉だ。

そう言われてもちっとも腹が立たなかったのは、自分自身、「まっとう」な看護教育を受けてこなかったと思っていたからだ。そもそも看護師になったのも、「資格さえあれば」と思ったからにすぎない。もともとは、今でいう「リケジョ」。東大闘争の真っただ中に入学したものの、大学の講義はちんぷんかんぷんでおそろしくつまらなかったため、全学ストライキになったときは心底救われた思いだった。その延長で大学を飛び出し、保育園で調理の手伝いとして働き始めたのだが、資格を持たなければ望み通りに生きていけない現実におつかった。そんなとき、看護師の資格が取れると聞いて転科を決意し、大学に戻って医学部保健学科というところに進学したのだった。

保健学科では、衛生看護学科時代の名残の看護関連科目が、学生の要求で再び開講されるようになったところだった。しかし、看護は選択科目であり、かなりの必修単位が他の専門科目の「読み替え」だった。授業もナイチンゲールの『Notes on Nursing』を読んだことくらいしか覚えていない。実習は夏休みなどに集中的に行われた。それも、衛生看護学科の卒業生が勤務する病院を転々として、成人領域は東大

病院だったが、精神は国立武蔵療養所(外口玉子先生が外来婦長だった)、母性は武蔵野赤十字病院、小児は東京女子医大病院で心臓手術を受けた生後6か月の赤ん坊を受け持った。

教員と病棟で会った覚えはない。臨床指導らしきものはほとんどなく、一緒に実習している同級生も1人か2人だった。カンファレンスもなく、今考えるとあきれられるようなことばかりしていた。精神科では、慶大仏文出だという、統合失調症で長期入院の60代の男性患者さんとフランス語の話題で盛り上がったが、翌日、その患者さんが脳卒中発作を起こして倒れ、あえなく中断した。東大病院の整形外科で受け持ったうちの1人は、工事中のビルのエレベーターシャフトで9階から地階まで転落し、奇跡的に命を取り留めたという男性。この方も、眼底骨折が見つかり転棟していった。もう1人は、幼いころから何度も足の骨の手術を繰り返している男子中学生で、実習後も病棟に面会に行っては家庭教師をしてあげていたのだが、見つけたスタッフから教員に連絡が入り、叱られてしまった。また、強烈な記憶として残るのは、喉頭がんの末期の女性患者さんである。首の前面がざっくりと失われており、むくんで膨らんだ舌が口から突き出ている。話すこともできず、喉の穴から胃へチューブを入れ、付添さんがミキサーにかけた食事を流し込んだ。私はずっとそばにいて身体をさすっていた。

そんなわけで、何かを学んだというより、とにかく一人で頑張っていたという思いしか残っていない。全て自己流だったので、「モグリ」と言われても本当にその通りだと思うのである。

4 そこで、モグリでも何とかやっている、その体験の一つひとつが財産になる、というのが、私から新人看護師へのメッセージである。

藤田 愛

北須磨訪問看護・リハビリセンター所長



「いつもなぜ私ばかり」泣き言だらけの月日は過ぎ去り

1 看護学校を卒業後、公立病院の外科系病棟に勤務した。一日で何度、先輩に名前を呼ばれたら。とにかく5人の新人のうちダントツで叱られた。「遅い! 検温に何時間かかっている」「機械の汚れが取れてない」「患者さんと話すときの目線が高い」「手つきが雑だ」。洗髪合格までに10回以上もかかった。いつもなぜ私ばかり、と自己嫌悪に陥った。

さらにやってしまう。毎日に疲れ果てていたあるとき、日勤が終わり深夜勤務までの仮眠で熟睡してしまう。勤務入りの時間を過ぎたとき、先輩からの電話で飛び起きてダッシュで職場に向かう。夢であってほしいとの願いむなしく、現実だった。「申し訳ありません」と何度も頭を下げたが、腕組みをした先輩に笑顔はない。

こんなことを聞いてみました

- 1 新人ナース時代の「今だから笑って話せるトホホ体験・失敗談」
2 忘れえぬ出会い
3 あの頃にタイムスリップ! 思い出の曲とその理由
4 新人ナースへのメッセージ

深夜勤務の朝は目が回るほど忙しい。ナースコールも鳴りやまない。ベッド上安静の術後患者さんのところに走った。「お待たせしてすみません。どうされましたか」「もう! ずっと前から呼んでるでしょ。おしっこが漏れてしまう」と叱られた。ベッドの下にある尿器を取ろうとしゃがみこんだ途端に涙がぼろぼろとこぼれた。10秒くらい経ったであろうか、私情は禁物と自分に言い聞かせ、さっと涙を手で拭い、「本当にごめんなさい」と介助を急いだ。病室の空気が変わった。「看護婦さん、大丈夫?」。4人部屋の患者さん皆に、優しく声を掛けられ、強がって「大丈夫です」と返事してみたが、ついに涙が止まらなくなってしまった。

2 看護師一年目のときは看護師として成長したいというよりも、モラル云々 (2面につづく)



新刊のご案内

May 2014

医学書院

●本紙で紹介の和書のご注文・お問い合わせは、お近くの医書専門店または医学書院販売部へ ☎03-3817-5657 ☎03-3817-5650 (書店様担当) ●医学書院ホームページ (http://www.igaku-shoin.co.jp) もご覧ください。

実践 がんサバイバーシップ
患者の人生を共に考えるがん医療をめざして
監修 日野原重明
編集 山内英子、松岡順治
A5 頁256 3,500円
[ISBN978-4-260-01939-2]

臨床医のための
小児精神医療入門
監修 日本精神神経学会小児精神医療委員会
編集 齊藤万比古、小平雅基
B5 頁240 3,600円
[ISBN978-4-260-01906-4]

医療福祉総合ガイドブック
2014年度版
編集 NPO法人 日本医療ソーシャルワーク研究会
編集代表 村上須賀子、佐々木哲二郎、奥村晴彦
A4 頁312 3,300円
[ISBN978-4-260-01955-2]

誰も教えてくれなかった
スピリチュアルケア
岡本拓也
A5 頁208 2,500円
[ISBN978-4-260-02010-7]

看護診断
第19巻 第1号
編集 日本看護診断学会
B5 頁42 2,800円
[ISBN978-4-260-01952-1]

〈シリーズ ケアをひろく〉
カウンセラーは何を見ているか
信田さよ子
A5 頁272 2,000円
[ISBN978-4-260-02012-1]

患者の目線
医療関係者が患者・家族になってわかったこと
村上紀美子 編
B6 頁268 1,800円
[ISBN978-4-260-02021-3]

日本腎不全看護学会誌
第16巻 第1号
編集 日本腎不全看護学会
A4 頁48 2,400円
[ISBN978-4-260-01978-1]

マタニティ診断にもとづく
母性看護過程の授業設計
監修 青木康子
B5 頁116 3,200円
[ISBN978-4-260-01934-7]

妊婦健診に一步差がつく
産科超音波検査
谷垣伸治
B6 頁120 2,200円
[ISBN978-4-260-01947-7]

2015年版
系統別看護師国家試験問題
解答と解説
[系統看護学講座] 編集室 編
B5 頁1640 5,400円
[ISBN978-4-260-01946-0]

2015年版
保健師国家試験問題
解答と解説
「別冊 直前チェックBOOK」付
[標準保健師講座] 編集室 編
B5 頁716 3,400円
[ISBN978-4-260-01943-9]

2015年版
准看護師試験問題集
医学書院看護出版部 編
B5 頁592 3,400円
[ISBN978-4-260-01944-6]

寄稿特集 Sweet Memories

卯野木 健

筑波大学附属病院
集中治療室看護師長



怒号飛び交うなか
「アリーナ席」確保、
時に憩いの血ガス測定

①腹を抱えて笑えるような失敗談は残念ながらものであるが、新人のときはどんな感じだったかを思い出しながら書いてみたい。

最初の配属先が救急外来であった。当時入職した病院は二次救急までの救急外来を行っており、その年の秋から三次救急を始めるべく準備していた。そのため、配属された新人は十数人。「こんなにたくさんびよびよちゃんがいてもしよーがねー」ということで、初めて師長に会った日に2か月半の病棟研修を言い渡された。私は最初が救急外来、その後が病棟である。

なんだかよくわからないオリエンテーションが終わると、すぐに救急車係(つまり、救急車を受ける係)である。同期と毎日朝早く来ては、救急カート内の薬品の適応や容量に関して確認し合ったなー(と書いていて思い出した)。

救急外来のスタッフはみんな口調が荒かった。「殺すぞ!」「物の場所がわからんのやったら帰れ」などの怒号が「いつも」飛び交うというほどではないが、「わりと」たくさん飛び交っていた。私は挿管の介助が苦手だった。すぐにカフのシリンジやバイトブロックがどこかにいってしまったり、スタイルットが抜けなくなったりしてしまうのだ。テープ固定も難関。医者も焦っているのだから「何してんのやー!」と怒られる。

毎日イメージトレーニングして、挿管介助があったら真っ先にアリーナ席(と私は呼んでいるが、手技者の右側)に立つようにして繰り返し練習したも

のである。

しばらく救急外来で経験すれば、重症患者が来てても平然とできるかと言えば、もちろん心境は平然としてはいられない。そんなときの当時の憩いの時間は血ガスである。多発外傷の患者が来院して怒号が飛び交い、緊張感マックスのときに憩えるのは「血ガス採ってきまーす!」である。測定の間、ホッと一息。しかも! 血ガスにはそれをみんなに読み上げるといふ重要な任務もついている。もうひとつはポンピングであるが、これはまあいいでしょう(何となくわかりますか?)。

こんな感じで6月まで救急外来、8月まで内科系病棟。9月からは三次救急が始まった救急外来で12月まで勤務。それから新しく立ち上がったICU。どこへ行っても常に新人で、見るものが新鮮だったのがよかったのかもしれない。忘れていただけかもしれないが、あまり「つらい」という思い出はない。それどころではなかったのだろう。

②結構激しい職場で、新人は1年であれよあれよと半数くらいになってしまったが、無事生き残ることができた。ああいう現場で無事1年を乗り切った同期との絆は強く、今も1年に1回集まっている。それぞれ18歳年を取っているのに、「みんなあのころと変わってないよねー」と毎年同じことを言う変わった人たちだ。同期と過ごした数年は本当に楽しかったと思う。また、良き師匠にも巡り会った。看護師の責任感や知識、技術、その人が教えてくれたことは私のその後の人生に大きく影響を与えている。のちのち海外に留学してみたりしたのはその影響だ。

③Green Dayの「Nimrod」。何千回も聴いた。あとはOasisの「Be Here Now」。

④いろいろあるでしょうが、とりあえず生き残ってください。そして仕事の中で楽しいことを見つけようとして「努力」してください。なかなか「努力」なしに楽しいことは見つからないものです。

就職した1991年の11月7日に発売された。「朝がくるまで泣き続けた夜も歩きだせる力にきっと出来る……」という歌詞が当時の自分の心境にフィットして、自分へのエールのように感じ、繰り返し聴いた。

④困難な状況に持ちこたえるために、二つの方法を助言したいと思います。一つ目は何でも話せる友人を持ち、不安、悲しさ、つらさの気持ちをためないこと。もう一つはどんなにつらくても一勤務に10分だけでも頑張ることを心掛け、諦めないで行動し続けてみてください。すぐではないかもしれませんが、患者さんがあなたの看護を必要としていることに気付き、次第に次第にさらさらとも看護の楽しさを感じられるようになってきます。

棚木めぐみ

マザリーズ助産院院長



バブル、明るい狂気の時代の
「何者でもない自分」

①私は四半世紀以上前、大阪の看護短大を出てはみたが、看護師としてこの先やっていくつもりは毛頭なかった。20歳そこそこの子どもが、「自分は何者であるか」すらわからないのに、他人様の世話をする、そんなおこがましいことできない、そんなふう感じていた。私は患者の全体像を見ることより、自分の全体像を知りたかった。しかし、進学するにはもう親の脛はかじりすぎて細くなっていたので、仕方なく「コンビニのバイトよりは時給がいいから」という理由で北陸某県の個人医院にUターン就職をした。

そこで1年間働きながら私が一番熱心にやっていたのは、大学受験勉強だった。ガラスの注射器を洗ながら(当時はディスプレイではなくまだガラスがメインだった)、少しでも空き時間があると英語の辞書なんかを読んでいた。とにかくこのまま田舎で看護師を中途半端に続けることはできない。一刻も早く親元を離れて自活しつつ、好きなだけ自分探しができる、そんな環境を探していた、それは大学進学しかなかった。それも、看護とは全く無縁の大学。翌春、早稲田の第二文学部に滑り込むことができ、私は一人暮らしをしながら、生活費と学費を稼ぐためにいろんなバイトをしたが、一番時給が良かったのは病院の夜勤だった。他にも、ナースバンクに登録して日中も働いた。

バイトとはいえ小さい職場では、半年もいると正職員や管理職にならないかと勧められるのが嫌で、数か月ほど職場をくるくると変えた。内科・外科・整形外科・耳鼻科・産科・透析。当然、未熟さゆえの細かい失敗は山のようにあるが、「看護師」に自分のアイデンティティを全く見だしていなかったせいもあり、叱られるのは苦ではなかった。むしろ「自分は何者でもない」ことのほうがつらかった。何者にもなりたくない。でもそれがつらい。そんな矛盾を常に抱えていた。

大学では私の欲しい何かは見つからなかった。時代はバブルの絶頂期だったため、現実逃避のために精神的に遊びまくった。今思えばうそみいただが、初めて会った知らないおじさんに、ジャンケンで勝っただけでティファニーのオープンハートのネックレスをもらったりした。そんな明るい狂気の時代、私にとって看護職とは、背中に背負った罪のようなものだった。思い出せば苦しくなるほど、私の看護師時代は丸ごと、恥そのものだった。

- こんなことを聞いてみました
- ①新人ナース時代の「今だから笑って話せるトホホ体験・失敗談」
- ②忘れえぬ出会い
- ③あの頃にタイムスリップ! 思い出の曲とその理由
- ④新人ナースへのメッセージ

②でも、そんなふうには自虐的に受け止めていた看護職が、自分にとってかけがえのないものに転じ始めたのは、あるターミナル患者を看取ったときのことだった。私はどうしてもその患者の最後の希望を叶えたかったが、一看護師の分際では無理な話で、その患者が亡くなったとき、自分の一部も死んだような気がした。看護とは、いったい何なのだろう……。真剣に考え始めたときだ。そのときのやりきれない気持ちは、その後何年もかけて私の中に澱のようにたまっていったのだと思う。ある日、家でぼんやりTVを見ていて、自宅出産を取り扱っている助産師という職業を知ったとき、頭に雷が落ちた気がした。「これだ!」と思った。

病院のベッドの中で息絶えようとしていたあの患者が震える舌で言った、最後の願い……「家に帰って畳の上で息を引き取りたい」。その願いを私は叶えたくとも叶えることができなかった。だが、助産師なら、自宅で、畳の上で生まれる命を自らの手で取り上げることができる。尊厳死、ということが言われ始めたころだった。尊厳死があるなら尊厳生がある。尊厳のある生まれ方とはいったいどういうものだろう。私は人生の目的を見つけたと思った。長い間漬かっていたモラトリアムというぬるま湯の中から這い出てきた瞬間だった。私は一念発起して助産師学校へ進学した。最初から、「開業し、自宅分娩を取り扱う」ことが狙いだった。

命は「死と生の両輪」から成る。同じコインの表裏だ。私が助産師になろうと思ったのは、皮肉なことに命の片側、「死」がスタートだったのだ。調布の地に開業し10年になるが、赤ちゃん一人を取り上げるたび、「命」の不思議は高まるばかりだ。私は助産、という名の看護をこれからも謹んで、一生、精進していこうと思う。

③映画『眺めのいい部屋』中の曲で、有名なアリア「私のお父さん」(O mio babbino caro)……あの草原のキスシーンと相まって、これ以上に素敵なお父さんはないって思っています。今も。

④看護師なんて嫌い! 看護なんて! って思っているあなた、そういう時期も人生の一時期にはあって当然。手も心も体もボロボロに荒れる、こんなの女の子の仕事じゃないよー! って私も、若いころは思っていました。若くなくなって、傷ついて、遠回りして、初めて見えてくるものもあります。宝物は人生の最初のほうで見つかったらつまらないよねって今は思っています。

(1面よりつづく)

よりも、とにかく先輩に怒られたくない一心だった。

そんな中で一番支えになったのは、同期入職の4人であった。自分だけが叱られていると思っていたが、聞いてみるとそれぞれ悩みがあった。おいしいものを食べたり飲みに行ったりしては、お喋りはいつまでも続き、行き詰まった心にずっと風が通った。孤独から救われることで気持ちを入れ替えて、また次の日も頑張れた。月日が経つうちに泣き言ばかりでなく、看護を語り合うことも増えていった。4人の同期のおかげで孤独からも困難からも救われた。

③今井美樹の「PIECE OF MY WISH」。

医療者と患者・家族のふたつの目線で、なっとくのケアを探そう

患者の目線 医療関係者が患者・家族になってわかったこと

患者の本当の声を聞くことから始まる「患者が主人公」の医療。それがわかっている、なかなかできないのが現実である。本書では、医師、看護師、看護教員、医療ジャーナリストなど、20名の医療関係者が、自身の患者・家族体験をもとに「医療者のおかれてる事情」と「患者・家族としての本音」のふたつの「目線」から、「なっとくのケア」へのヒントを医療者に向けて語りかける。

村上紀美子 編
医療ジャーナリスト



マタニティ診断を用いた母性看護過程の授業を解説

マタニティ診断にもとづく
母性看護過程の授業設計

看護診断だけでなくマタニティ診断を用いた母性看護過程をどのように学生に教えるのか、授業設計と授業の展開を解説した書。母性看護学概論の講義から始まり、演習・実習の指導まで網羅。授業案や指導案、授業で使用できる資料もあり、母性看護過程の授業を組み立てるうえで参考になる。母性看護学を担当する教員には必携書といえる。

監修 青木康子
前 帝京大学医療技術学部看護学科 特任教授
執筆 相沢澄子
東京都立板橋看護専門学校 主任
篠原千鶴子
東京都立北多摩看護専門学校 副校長
主濱治子
東京都立尾花看護専門学校 教諭
友部貞子
前 埼玉医科大学短期大学専攻科母子看護専攻 講師
長島貴久代
前 東京都立板橋看護専門学校 主任
平原春美
東京都立北多摩看護専門学校 教諭



宝物は人生の最初のほうで見つかったらつまらない

梅田 恵

株式会社緩和ケアパートナーズ代表取締役／がん看護専門看護師



新人3人で迎えた嵐のような夜勤

①急性期多科混合病棟の看護師23人の中の新人10人、そのうちの一人として看護経験がスタートした。とにかく忙しく、採血、検温、点滴交換、検査出し……に追われ、看護基礎教育で学んだことと現実のギャップに戸惑い、いら立ち、焦り、そして苦痛の中にある患者や家族を目の当たりにすることが何よりもつらく、悲しく……日々悶々としていたことを思い出す。しかし、看護チームのメンバーには恵まれ、先輩たちと良く語り、遊び……、青二才な新人看護師の気持ちをいっぱい受け止めてもらった。

入社して3か月目にはリーダー業務を開始。そして、その年の秋ごろだろうか、新人3人での深夜勤務が巡ってきた。今夜看取ることになるかもしれない方が一人おられ、そのときの手順などを先輩看護師からしっかり申し送りを受け、不安いっぱいな状態で勤務が始まった。明け方までは順調に経過。しかし、透析中の方の痙攣を発見、意識低下、呼吸停止、急変だ。CPRの開始、ベッドの移動……、他方では心臓リハビリ中の方の心電図がおかしい。CCUの看護師に応援を要請、CCUに預かってもらうことになる。そうこうしているうちに看取りが予測されていた方が息を引き取られ、急変した透析中の方も息を引き取られた。もちろん、ルーティン業務は何もできず、きっと、他の患者さんたちは不安な思いであっただろう。新人3人の夜勤は次の日勤者には心配をかけていないはずもなく、いつもより早めに先輩や師長が病棟に現れ、いきなり動き始めてもらうことになった。ちゃんと申し送りもできず、3人の新人で詰

所にへたり込んだあの朝のことは忘れられない。今思い出しても、心臓がどきどきする。しばらくは放心状態で、どうやってリカバーしたのか、思い出せない。

②看護に興味を持たず、臨床の現実で苛まれていた私は、辞めるか専門性の高い部署へ異動するかを希望した。そこで配置されたのがホスピス病棟だった。このときの看護管理者たちの配慮に、ただただ感謝である。当時まだ全国に2か所しかなかったホスピスの一つで、「患者やご家族にとって最善をめざす」チームの理念に向かい、看護の役割についても哲学を持った先輩たちに囲まれながら、「看護をする」ことの醍醐味を日々経験することになった。そこで初めて、忙しいことがケアできない理由ではなく、看護の専門性やケア提供者としての自身の在り方が育っていないからケアができない現実が見えてきた。初めて看護の意義を実感できた。その後、大学での学習と臨床を交互に繰り返すキャリアを経て、今に至る。その中で看護の可能性への期待が広がっている。さらなる可能性の追求が起業へのチャレンジにつながった。

看護の専門家が思うほど、看護の提供システムは整っていないが、社会は超高齢化、多死の時代に突入している。人々の自律性を尊重し、さまざまなステージの健康状態やエンド・オブ・ライフを意識しながらも、安心して日常を送っていくためには、看護は不可欠な学問と位置付け発展させていきたい。そのための実践を積み重ね、日々、看護への思いを熱くしている。

③当時テレビのない生活をしていた。ゆっくり音楽を聴くような生活はしておらず、ドライブに出かけるときは大声でユーミンや竹内まりやの曲を歌っていた。まだテープで聴いていたことを懐かしく思い出す。

④キャリアを長い目で見据え、日々患者さんと向き合ってください。看護のキャリアは病院だけではない。看護の哲学や知識を自分に合った方法で社会に役立ててほしいです。

阿部まゆみ

名古屋大学大学院 特任准教授・がん看護学



“Oh! You're Japanese Nurse!” 40歳過ぎの新人ナース体験

①私が最初の新人時代を過ごしたのは、国立病院医療センター(現国立国際医療研究センター)です。入職時は、ちょうど新生児集中治療室(NICU)がスタートした時期です。新人当時は、他県から救急車で搬送された1000g以下の超低出生体重児の女児救命に、チームで全力投球した記憶があります。同院で手術室、小児科病棟、特別個室病棟に15年間勤務した後、英国に渡りました。

2度目となる新人ナース体験はロンドンでした。郊外の語学学校に通っていると、知人から「5歳のアレルギー児の幼稚園に付き添ってほしい」「出産後、マタニティブルーで困っている人がいる」「病児の受診に付き添ってほしい」などの相談が舞い込み、ナース経験者として小さな親子支援活動をしました。そうこうしながら近くのシェアハウスに移動し、病院で看護ボランティアを開始しました。そこで驚いたことは、がん告知の段階から治療までをサポートする、がん専門看護師による看護外来が設置されていたことでした。ボランティア活動を通して、英国の保健医療システムについてより深く知りたいと思い、看護学校に編入しました。さらに、ロンドン・サウスバンク大緩和ケアコースで学んだことは、私の人生のターニングポイントになりました。

②近代ホスピスの発祥の地、聖クリストファーホスピスには2段階の面接を経て就職することになりました。看護部長とは3か月ごとに面談がありました。ホスピス創始者のシシリー・ソングラス先生には、「ミミ、元気？」と私のニックネームで、よく声を掛けてくださいました。働く場は私の希望で、併設のナーシングホームから、デイホスピス、ホスピス病棟、そして在宅ケアの順に移り、段階的に経験を積むことになりました。

そのナーシングホーム初日のことです。ムーミン漫画のキャラクター“リトルミイ”風のMさん(93歳、某女子校の元校長)を1階のダイニングルームへお誘いするために訪室すると、「あなたには私をエスコートする資格がありますか?」とやや陰しい表情で問われました。私は一瞬、「あの一」と戸惑い、次の言葉が出ませんでした。Mさんの凛とした姿は、今でも鮮明に覚えています。私は「はっ!」として、ユニホームは着用しているものの、顔なじみではなかったことに気付き、間をおいて再び自己紹介しました。すると“Oh! You're Japanese Nurse!”と笑顔で返してくれました。この出会いを機に、Mさんは「これからは、私があなただけの個人教授よ!」と仰ってください、お会いするたびにニュースの話題と体調報告が日課となりました。Mさんの部屋には、曾祖父より譲り受けたマホガニー材のアンティークたんすと校長退官時の記念樹の絵が掛かっていました。今振り返ってもこの40歳過ぎの新人ナース体験は、異文化交流の中で、看護師と患者の関係以前に、人としてかわかることの大切さをあらためて確認することとなりました。その後の人生においてもたくさんの出会いと別れに彩られ、今日につながっています。

③イルカの「なごり雪」。あのころは先輩の影響でスキー場に行き、一面銀世界の中でイルカの「なごり雪」をよく聴いていました。今もこの曲を聴くとスキーの魅力にはまっていた新人ナースのころを思い出します。

④新たな環境の中で、初めて遭遇することに対する緊張の連続と、少しずつわかることの面白さなど、発見の日々となるでしょう。目の前のことは全てが学びの場ですので、まずは大変なことでも角度を変え、何かを思いつくという想像力や発想力を豊かに取り組んでください。“今”を楽しめますよう、応援しております。

●書籍のお問い合わせは 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 医学書院販売部まで FAX(03)3815-7804 なお、ご注文は最寄りの医学書院刊行物取扱店(医学書院特約店)へ。



すべての経験は看護に活きる。看護の考えは人生を豊かにする。ナースになって本当によかった!

看護は私の生き方そのもの

病院での臨床をスタートに、旧厚生省で行政に、国会議員秘書として立法に関わってきた著者。その後難病を発症するも、病氣と正面から向き合い中国でのボランティアに身を投じる。波乱万丈の人生を振り返りつつ、看護師であることの喜びとその責任・やりがいを噛みしめ後進に伝える。また、看護とは人生で起こるさまざまなイベントを吸収し広がり行くものだという実感を、軽快かつ経験ゆえの深みある文章で記す。

長濱晴子 前・清水嘉子参院議員秘書／看護師 看護は私の生き方そのもの

試験対策を強力にサポート!

2015年版 系統別 看護師国家試験問題 解答と解説 『系統看護学講座』編集室 編 予想問題と模擬問題で、新出題基準への対策も万全。必修問題も過去6年間全入りで、必修問題対策にも十分取り組めます。さらに、「計算問題を完全マスター!」で、計算問題を集中的に解説。別冊「覚えておきたい重要事項」では知識の整理が可能。問題は、出題傾向が把握できるよう、系統別+テーマごとに配列し、さらに、正文集「チェックアップ」で知識の確認ができる。赤シート、インデックスシール付き。 ●B5 頁1640 2014年 定価:本体5,400円+税 [ISBN 978-4-260-01946-0]

2015年版 保健師国家試験問題 解答と解説 編集 『標準保健師講座』編集室 第95～99回試験からの精選問題と最新第100回試験の全問題を完全解説。精選問題は「予想問題」を加えて教科別に掲載(新出題基準対応)。「標準保健師講座」とのリンク、「覚えておきたい重要事項」で知識の整理も万全です。第100回試験問題と試験1回分の「模擬問題」は本番同様の形式で掲載。時間配分も考慮した演習が可能です。短時間でも活用できる正文・重要事項集「直前チェックBOOK」も別冊として付属します。 ●B5 頁712 2014年 定価:本体3,400円+税 [ISBN 978-4-260-01943-9]

2015年版 准看護師試験問題集 付一模擬解答[別冊] 編集 医学書院看護出版部 2015年の准看護師資格試験の受験者を対象とした問題集です。2014年2月に全国都道府県で実施された2013年度准看護師試験の全問題1,050問を地域別に収載しています。また、2010～2012年度試験問題から精選した750問を科目別に整理し、受験対策や重要事項とあわせて自己学習に役立てられるようにまとめました。各科目の専門家による模擬解答(別冊付録)付きです。 ●B5 頁592 2014年 定価:本体3,400円+税 [ISBN 978-4-260-01944-6]

寄稿

高度な看護実践を支える チームビルディング力育成プログラム

亀井 智子 聖路加国際大学教授・老年看護学

医療の高度化・複雑化と同時に、患者・家族の価値観が多様化している今日の保健医療の現場では、チームアプローチによるケア提供が不可欠である。チームとは能力と努力を重ね合わせ、協調を通じてプラスの相乗効果を生み出す集団¹⁾といわれ、その目的は包括的評価と全人的ケア、患者・家族が自らの保健医療の課題に取り組む力を増強することなどにある。

これまでの大学院教育では「専門的に自律」することが強調されてきた。しかし、チーム医療は単に専門的知識と優れた技術を持つ専門職が集まれば成り立つものではなく、チーム自体を作り上げるためのコミュニケーション方法や集団のダイナミズムを理解し、必要なメンバーを集め、チームを作る方略をとることが必要である。チームには発展のプロセスがあり、チームを形作り、規範を作り、困難なことに直面し、チームで行動し、課題が解決するとチームからメンバーが離れるといった段階がある²⁾。これらを院生のうちに理解しておくことは、葛藤やバーンアウトを防ぐ上で重要であろう。

本学大学院では、文科省大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業の採択を受け、2011年度から3か年「チームビルディング力育成プログラム」を、事業推進代表者(学長・井部俊子)のもと、博士前期課程(修士課程)において実施した。修士課程のカリキュラムに位置付け、講義・演習・見学実習・実習・課題研究という複合的な構成で「特別講義チームビルディング」を作り上げた。本稿では、その内容と評価について述べる。

チームの作り方を具体的に学ぶ——ミシガン大学チャレンジプログラムの活用

本科目の目的は「PCC、およびシステムズアプローチの概念と適用について理解するとともに、チャレンジプログラム、および事例検討と発表を通じて、チームビルディングのために必要なコミュニケーションスキル、リーダーシップ・メンバーシップのあり方を習得する」(修士課程シラバスより)ことである。

講義では①本学カリキュラムの軸である People-Centered Care (PCC)、②システムズアプローチ、③チームの理論と考え方について教授し、演習ではチームビルディング力を履修者が体験して身につけることを重視し、Adventure based activity programである「チ

●表 チェレンジプログラムの進め方

- ①ファシリテーターが参加者をアクティビティの実施場所へ誘導(事前に必要な用具等が設営されている)
- ②ファシリテーターからゴール、ルール(やること、やってはいけないこと、制限時間など)の説明(ブリーフィング)
- ③チームによる目標達成のための作戦会議(制限時間あり)
- ④トライアル(試行)と本実施
- ⑤ファシリテーターからのさらなる上位ゴールの提示
- ⑥チームによる目標達成のための作戦会議(制限時間あり)
- ⑦実施
- ⑧ファシリテーターによる振り返り(デブリーフィング)の促進
- ⑨一般化(現実への適用)

ャレンジプログラム³⁾を導入した(詳細は後述)。加えて、専攻領域の異なる6人がチームとなり、多職種協働アプローチが必要となる事例(精神疾患のある母親と発達遅延児の母子事例、独居末期がん高齢者の事例、出産直後のマニティブルーのシングルマザーの事例、暴言や拒否のあるレビー小体型認知症高齢者の老夫婦事例)を1つ担当。ワークシートに沿って各自のチーム力といった項目を分析した上で、事例の課題と解決・改善に向けた対応などを検討し、チーム内に生じた葛藤や障壁とその対処法の分析を行った。この事例検討会は講義とチャレンジプログラムで習得した関係構築やコミュニケーションスキルを実際に適用できるよう、組み合わせた。さらに、見学実習では、国内でモデルとなるチーム医療を実践する医療機関を訪問し、チームの特性について理解した。

これら講義一演習一見学実習は、本科目内で履修者全員が共通して学習し(1単位)、実習および課題研究はおのおのの専攻分野(小児看護学、がん看護学・緩和ケア、成人看護学[慢性期・急性期]、ウイメンズヘルス・助産学他)において希望したテーマに応じて進めるものとした。

アクティビティをベースに進めるチャレンジプログラム

チャレンジプログラムは、1990年からミシガン大学レクリエーションスポーツ部が提供しているアクティビティベースの問題解決型学習法で、野外で行われる。ファシリテーターから課題が提示され、チーム内で解決方法を討議・実施し、達成されてもされな



●写真は、コミュニケーションを狙いとしたアクティビティ「パイプライン」。約50cmのハーフパイプをチームメンバーで相互につなぎながら、ビー玉・ピンポン球等をスタートラインから送り、ゴールのバケツに入れる。「最初の1人がスタートラインから出るまで全員は線の内側で待機」[制限時間内により多くのボールを運び込むように取り組む]がルール。一人ひとりがボールを送った後、迅速かつスムーズに列の最後尾に移動しなければ、パイプが途切れてしまう。1回目終了後に作戦会議を実施し、初回より多くのボールを運べる案(身長順、足の速い順など)を練って、2回目に挑む。

くても、そのプロセスを振り返り(デブリーフィング)ながら、チームビルディングを理解する。ミシガン大学はチャレンジプログラム専用の広大な敷地を有し、専属スタッフが配置されており、さまざまな学部(の)学生、大学病院のスタッフ、企業の社員研修、地域の高齢者グループなど、年間利用者が3500人ほどいるという。都心に位置する本学では場所の制約も大きいため、2012年度から2年間は野外スペースを確保できる場所を探し、合宿により行った。また、本プログラムはファシリテーションのスキルが重要であるため、講師を招請して実施した。

チャレンジプログラムで行われるアクティビティの目的は、①アイスブレイク:メンバーの緊張を解き、コミュニケーションを促進する、②コミュニケーション:チーム内のコミュニケーションに注目し、その重要性に気付く、③信頼関係構築:チームのメンバーを信頼し、委ねる—委ねられる感覚を身につける、④問題解決:主として問題解決法をチームで検討し、解決を体験する、⑤情報交換:他チームに情報を伝える、⑥混合:これらの目的の混合、の6つである。1つのアクティビティの取り組みは表のように進められる(写真)。簡単なアクティビティからより複雑なものへとチャレンジと振り返りを繰り返しながら、現実への適用を考えられるように計画される。

プログラム修了生にみる教育の成果と今後の展望

演習参加前後の履修者のチームビルディング力などの変化を「相互独立的一相互協調的自己観尺度」⁴⁾、およ

●亀井智子氏

保健所保健師、自治体立病院看護師等を経験後、東京医歯大保健衛生学科助手・講師、聖路加看護大助教授を経て、2007年より現職。医学博士。1990年代に10年間開催されたミシガン大老年学セミナーへの参加がきっかけで、98年同セミナーの日本側運営委員に就任。チャレンジプログラムを取り入れた老年学セミナーである「NPO法人高齢者を支える学際的チームアプローチ推進ネットワーク」を立ち上げ、わが国の学生や専門職を対象に行っている。日本在宅ケア学会理事長、日本老年看護学会理事など役職多数。

び「チームアプローチ尺度(『チームアプローチ実践評価尺度』⁵⁾)を基に筆者らが改変)」により評価した。その結果、前者では「独断性」「評価懸念」は有意に低下し、「個の認識・主張」は有意に上昇。後者では尺度全体の得点平均が有意に上昇し、「コミュニケーション」「関係性・メンバーシップ」「問題解決への取り組み」「自身の貢献・自信」のいずれも有意に上昇した⁶⁾。

チャレンジプログラムを通して、「話し合い—多様なアイディアの出し合い—意見の採択ととりまとめ—結果との対峙—自己の振り返りを繰り返し言語化すること」により、コミュニケーションが活発化し、チーム内での個人的な主張や他者の評価を気にするという懸念が弱まった。そして、チーム内の関係性や問題解決への取り組みに自信が持て、チームへの意識が変化したととらえられ、履修者にチームビルディング力が身についたと考えられた。

チャレンジプログラムとチームによる事例検討会を導入した演習の組み立ては、チームの理論的背景の理解、各自の考えの言語化、課題達成感の共有化、自身のチームへの貢献感覚と肯定的振り返りを行う体験として一貫性があった。その反面、本科目による習得内容を現実のチーム医療現場でどのように生かしていけるのかは検討する必要がある。

今後はチームに生じた複雑な課題を分析材料にするなど、チーム自体の成長を評価する視点を取り入れ、また、単科大学である本学に他領域の院生を取り込む方法を検討したい。

●引用文献

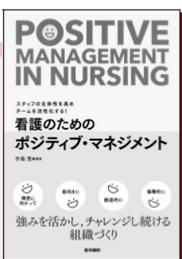
- 1) Robbins S. 高木晴夫訳. 組織行動のマネジメント.ダイヤモンド社;2009.
- 2) Theresa JK, et al. HEALTH CARE TEAM-WORK: Interdisciplinary Practice and Teaching. Praeger Pub;2000.
- 3) ミシガン大学レクリエーションスポーツ部チャレンジプログラム. <http://recrecsports.umich.edu/challenge/>
- 4) 高田利武, 他. 相互独立的一相互協調的自己観尺度(改訂版)の作成. 奈良大学紀要. 1996;24:157-73.
- 5) 杉本知子, 他. 高齢者ケア施設における学際的チームアプローチ実践評価尺度の開発—信頼性・妥当性の検討. 日看科会誌. 2011;31(4):14-23.
- 6) 亀井智子, 他. 大学院修士課程特別講義「チームビルディング」(2011年度—2013年度文科省大学改革推進等補助金専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業)の総括評価. 聖路加看護大学紀要. 2014;40:9-18.

いまある豊かさや強みに焦点をあてたアプローチ

スタッフの主体性を高め チームを活性化する！ 看護のためのポジティブ・マネジメント

組織やスタッフのもつ「優れた側面、特性、強み」にアプローチした新しいマネジメント手法、それがポジティブ・マネジメント。いまある豊かさや強みを伸ばすことで、スタッフの主体性やモチベーションを高めると同時に、スタッフ間の関係を向上させ、組織の一体化を目指す。前向きに、生き活きたとした人材の育成、組織づくりに役立つ1冊。

編著 手島 恵
千葉大学看護学部教授・病院看護システム



悩み闘い病み、引きこもりながら、彼女が看護をひらいた

ナイチンゲール伝 図説 看護覚え書とともに

近代看護の創始者フローレンス・ナイチンゲール。クリミアの過酷な戦地で看護団を率い、帰国後は政府を動かして医療・福祉の広範な改革を主導した彼女は、みずから病人として半世紀に宅に引きこもって暮らした孤高の人であった——。ベストセラー「まんが医学の歴史」の著者が向き合った、ナイチンゲールその生涯の物語。月刊「看護教育」で好評を博した連載内容を改稿、さらに図説看護覚え書を描き下ろして収載した。

茨木 保
いばらきレディースクリニック院長



看護のアジェンダ

井部俊子
聖路加国際大学学長

看護・医療界の“いま”を見つめ直し、読み解き、未来に向けたアジェンダ(検討課題)を提示します。

(第113回)

ノートをとる

新入生を迎え、本学の図書館ではこじんまりとした展示会が開かれている。題して「大学の勉強ってどうやってやるの?展」である。続けて、「大学での勉強の仕方、つまりノートのとり方、調べ方、まとめ方、時間管理などを学ぶための推薦本を紹介したいと思います。ぜひ、ご覧になり、自分に合った本を見つけ、それを読んで、大学での勉強の仕方を理解していただく。最初が肝心ですよ!!!」とある。

そうかと思ひ、何冊かの本を手にとり、「ノートのとり方」を私も学ぶことにした。

簡潔で明瞭なノートを作成し、識別能力を鍛える

大学で「ノートをとる」ことは、高校までのノートのとり方よりも、社会で活動するなかで求められるノートのとり方に似ている。つまり、先生が黒板に書いたこと(板書)をノートに写していくことではなく、授業という決められた時間の中で、ノートをとるかどうか、どのようにノートをとるかを自分で判断して進めていくことになるのである。授業方法は講義、演習、実験・実習・実技などがあるが、どのようなスタイルの授業にも共通することは、担当教員による口頭での説明が授業進行の中心にあるということであり、教員が説明する話を聞いて、その内容を理解するために「ノートをとる」ことが求められる。したがって、「ノートをとる」ことの意味は、①授業内容を理解するための記録、②学習履歴の蓄積、③新しい考え方の発見と創造の道具、④汎用的なスキルの習得、である。そのため、ノートをとるときに注意点は、①自分自身の道具として作る、②後で「使える」ノートとして作る、③発見や創造の道具として利用できるように作ることである(小原芳明監修、玉川大学編『大学生活ナビ 第二版』第4章、玉川大学出版部、2011年)。

また、こんな指摘もある。重要なポイントについてメモをとるべきであり、「授業時間が質問と討論に費やされるならば、あまりメモをとってはならない」(A.W. コーンハウザー著、D.M. エナーソン改訂、山口栄一訳『大学で勉強する方法』63頁、玉川大学出版部、1995年)。

『アメリカ式ノートのとり方』(ロン・フライ著、金利光訳、東京図書、1996年)はシンプルである。ノートをとる際に用意するものは、ボールペン1本、中仕切りのある三穴式のバインダー、ルーズリーフ、そして「いきいきとした頭脳」であるという。さらに、こんな記述がある。「二人の学生が授業に出たとしましょう。一人は先生の言葉をすべてノートに書きとりますが、話の内容には注意を払いません。もう一人は、ノートはあまりとらないが注意深く聞いています。授業の最後に抜き打ちテストをやれば、ずっとよい成績をとるのは後者の学生でしょう」。つまり、「ノートをとることは話を聞く能力をアップさせ、大事な知識をしっかりと記憶させてくれる」から、積極的に話を聞くこと、注意力散漫にならないためにできるだけ先生の近くに座ること、落ち着きのないクラスメートのそばに座らないこと、正しい姿勢で座ること(腰が座らないと心も座らない)、そして、書き留めるべき内容だと先生が教える言葉を聞きとる、言葉以外の手掛かりを探す、質問をたくさんする、テープレコーダーを使って録音するよりも「いきいきとした頭脳」を使おう、と言っている。ノートをとる戦略として「選択的な聞きとりを身につける」ことに注目したい。つまり、こういうことである。「簡潔で明瞭なノートを作成する作業は、なによりもあなたの識別能力を鍛えます。重要な内容とどうでもよい内容とを区別する能力、重要な概念、事実、考え方をそれ以外のすべてのものから選り分ける能力です。教師の話をしつ

診療所看護師の育成体制を考察

プライマリ・ケアの充実が叫ばれている今、地域の医療を支える診療所看護師の役割はますます重要になっている。しかし、これまで診療所看護師の役割・能力は十分な議論がなされてこなかったために明確化されておらず、看護基礎教育・卒後教育のいずれにおいても、診療所看護師としての能力を開発する体制が整っていない現状がある。第5回日本プライマリ・ケア連合学会(大会長=岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック・松下明氏、2014年5月10-11日、岡山県岡山市)にて企画されたシンポジウム「診療所看護師育成を考える」(座長=石橋クリニック・石橋幸滋氏)では、診療所看護師に求められる役割と能力、それらを身につけるために必要な教育体制が議論された。

◆構造化された教育体制が求められる

シンポジウムではまず、厚労省医政局看護課看護サービス推進室の島田陽子氏が診療所看護師の育成に関連する制度の動向を解説。また、岡山県看護協会の石本傳江氏から、地域ケアを担う看護師の育成体制の現状として、同県での取り組みが紹介された。

プライマリ・ケア機能を担う診療所の医師・看護師を対象に行った調査結果を基に、診療所看護師の果たすべき役割と必要とされる能力について報告したのは、森山美知子氏(広島大学院)だ。氏は、診療所看護師が担うべき役割として、①外来機能:個人および家族の健康を守る役割、②在宅支援機能:人々が住み慣れた場所で安心して療養でき、最期を迎えることを支援する役割、③地域支援機能:地域の健康問題に対処する役割、④診療所をマネジメントする役割を列挙。その上で、それらの役割を果たすために必要な基本能力として、「地域で生活する人々の尊厳と権利を擁護する能力」「継続的な人間関係を維持するためのコミュニケーション能力」「家族志向を実践する能力」「専門職者として研さんし続ける能力」などを挙げた。氏は、「在宅医療、地域医療へとシフトしていく中では、戦略的にプライマリ・ケアを担う診療所看護師を育成していくことが必要。構造化された教育体制が求められる」と指摘。看護基礎教育課程においてプライマリ・ケアに関する実習の導入、保健師教育と地域看護学を充実させることその他、診療所に勤務する看護師に向けた卒後教育プログラムの作成などを提言した。

かり聞き、概念を理解するのに必要な内容だけを書きとめる能力といってもいいでしょう。その内容とは、わずか一文であることもあるでしょうし、細かい実例であることもあるでしょう」(55頁)。

「知識」だけではなく、「知識の獲得のしかた」を学ぶ

梅棹忠夫は『知的生産の技術』(岩波新書、1969年)の中で、学校はものごとをおしえすぎる反面、「おしえおしめ」をするところでもあると指摘している。知識はおしえるけれど、知識の獲得のしかたはあまりおしえてくれないのであるという。つまりそれは、「学問をこころざすものなら当然こころえておかねばならぬような、きわめて基礎的な、研究のやりかたのことなのである」。さらに、「大学をでて、あたらしく研究生活にはいってくる人たちは、学問の方法論については堂々たる議論をぶつことはできても、ごくかんたんな、本のよみかた、原稿のかきかたさえもしらないということが、かならずしもめづらしくない」が、自分

自身もノートのとりかたひとつにしても「先生から直接おそわったという記憶がない」ので「みようみまね」で先生や先輩のやりかたを「ぬすんで」きりぬけたと書いている。この本が出版された1969年は、私が大学を卒業した年である。

私のバッグにはいつも、表紙が紺色で厚紙でできている小ぶりのポストンノート(マルマン)が入っている。リング製本である。ノートをとるに値する講演やセミナー、インタビュー内容をボールペンで書き留める。ボールペンはパーカーである。ポストンノートの紙質と相性がいいので気に入っている。

そういえば、最近、学生たちが授業中「ノートをとる」姿をみることが減ったのは、パワーポイントを用いた講義であり、その印刷資料が配布されるせいかもしれない。しかし、その上で「ノートをとる」ことは学習者にとって多くの効能があることを先達が教えてくれている。しかも、「板書」にも意義があることを、展示されている実物の学生によるノートが物語っている。

医学書院看護教員「実力養成」講座2014のご案内

基礎教育と臨床現場のギャップを埋める看護技術教育

就 職後に新人看護師がどのような困難に直面しているのか、どのように支援され成長しているかを紹介し、基礎教育と臨床現場のギャップを埋めるための看護技術教育に役立つ授業設計について解説します。

講師

大阪・東京 両日講演



任和子 先生

京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻教授

大阪・東京 両日講演



内藤 知佐子 先生

京都大学医学部附属病院
総合臨床教育・研修センター助教

大阪講演



平松 八重子 先生

京都大学医学部附属病院
救急部・集中治療部看護師長
/集中ケア認定看護師

東京講演



原田 久子 先生

京都大学医学部附属病院
呼吸器外科病棟副看護師長
/集中ケア認定看護師

日時・会場

大阪

2014年10月18日(土)

13:00~16:30(開場12:00)

新梅田研修センター205号室

(大阪市福島区)

東京

2014年10月25日(土)

13:00~16:30(開場12:00)

全社協灘尾ホール

(東京都千代田区)

受講料

5,000円

お1人様、いずれか1会場での受講料です。資料代・消費税を含みます。受講料の返金はいたしかねます。

お申込み方法

以下のセミナーページから、希望のセミナー会場を選び、お申込み方法にそってお手続きをお願いいたします。

<http://www.igaku-shoin.co.jp/seminarTop.do>

ご入力いただいたメールアドレス宛に、入金方法のご案内を自動返信いたします。

量的研究

量的研究

「量的な看護研究ってなんとなく好きになれない」、「必要だとわかっているけれど、どう勉強したらいいの?」という方のために、本連載では量的研究を学ぶためのエッセンス(本質・真髄)をわかりやすく解説します。

加藤 憲司
神戸市看護大学看護学部 准教授

第5回 研究の価値を決めるもの

研究の価値を決める2つの軸

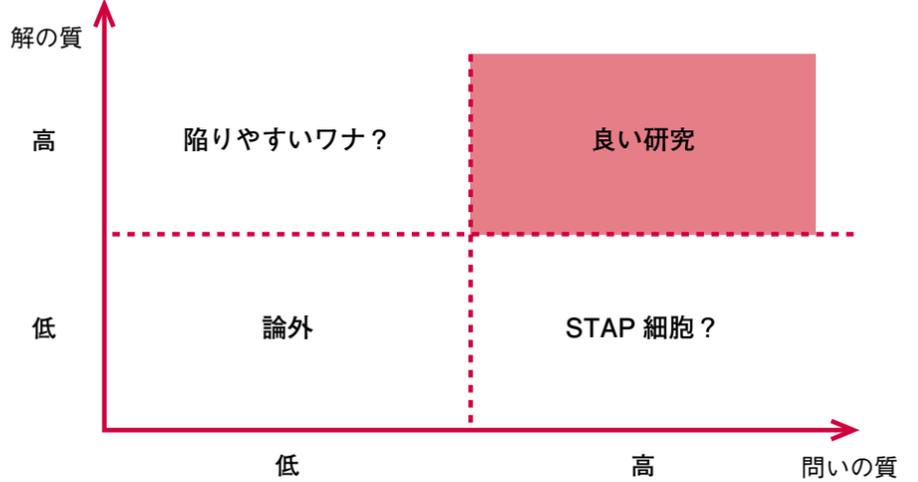
読者の皆さんの中には、これから研究を始めようとしている人がいることと思います。研究するからには、良い研究をしたいですよね? では、良い研究とはどのようなものなのでしょうか? 本連載第2回(第3065号)で触れたように、研究というのは「問いを立てて、それを解明すること」です。したがって研究の価値は、「どのような問いを立てるか」および「その問いにどのように答えるか」の2つの観点でとらえることができます。図を見てください。図の横軸には「問いの質」、縦軸には「解の質」が示してあります。図の右へ行くほど、答えることの必要性・重要性が高い問いを問うており、上へ行くほど、分析の方法が適切・妥当で結果を信用できることを意味しています。

図の右上、つまり問いの質も解の質もどちらも高いのが良い研究であることは明らかですね。では、これら2つの軸の一方が低い場合、どのような問題があるのでしょうか? それを考えるヒントとして、最近いろいろと話題になっている STAP 細胞を例に取り上げてみましょう。本稿執筆時点で STAP 細胞の真偽ははっきりしていませんが、少なくとも論文には取り下げに値するほどの欠陥があったと報じられています。それなのに、なぜ初めに論文が発表された段階であればほどマスコミで騒がれたのでしょうか? それはあの論文が、「どうすれば効率よく、かつ安全に、万能細胞を作り出すこと

ができるか」という非常に重要な問いに対して、新たな方法を提案するものだったからです。もし論文の主張が正しいければ、再生医療が今後爆発的に発展し、人類に多大な貢献をもたらすものとなったでしょう。したがって STAP 細胞の研究は、問いの質のレベルが極めて高いものとも言えます。ところが報道を見る限り、STAP 細胞が存在する証拠は十分に提示されていないようですし、他の研究者らによる再現性の検証も進んでいないようです。これでは解の質のレベルが高いとは言えないように思います。つまり、STAP 細胞の評価は図の右下のゾーンに当てはまるということになりそうです。一時は「教科書を書きかえる研究だ」「ノーベル賞間違いなし」などと言われたことから、研究において問いの質の高さがどれほど重要か、今回の騒動で垣間見ることができた気がします。

問いは研究の“命”

次に、図の左上のゾーンについて考えてみましょう。左上は、解の質は高いけれども問いの質が低いような場合です。筆者が思うに、研究の初学者が陥りやすいのはむしろ、このゾーンに当てはまるような研究をしてしまうことではないでしょうか。読者の中には、論文のクリティーク(批判的吟味)の練習を積みつつある方もいると思います。クリティークの際には、「妥当な研究方法を用いているか」「結果の解釈は適切か」「研究成果を自分の実践に適用可能か」といった視点で、一所懸命論文を読まれていることでは



●図 研究の価値を決める2つの軸

う。それらは解の質についての視点だと言えます。では、「その論文が問うている問いはどれくらい重要か」について、どの程度意識してクリティークしていますか? そもそも、問いの重要性の低い研究は論文として発表されませんから、クリティークの練習を積みただけでは、問いの質を吟味する目を養うには十分とは言えないのではないのでしょうか。

筆者は現在、大学院の学生さんたちに統計分析の指導をする立場にありますが、その立場から言うと、筆者にできることは解の質を上げるためのアドバイスをすることです。研究対象者の選び方、測定の方法、統計分析の手法、結果の解釈などについてであれば、お手伝いできることがあると思っています。同様に本連載も、読者の皆さんに解の質を上げるための参考になるヒントをお伝えすることを目的としています。しかしながら、問いの質を高めることができるのは、あなた自身しかできません。連載第2回に書いたように、「問いは研究の“命”」です。それだけに、問いの質を高める能力は研究の根幹にかかわるものであり、簡単には習得できません。あなたが大学院生であれば、このことを肝に銘じて研鑽を積んでほしいと思います。一方、もしあなたが自分で問いを考えなくてよい立場で研究に携わるのなら、一番しんどい部分を免除されているということになります。その場合、量的研究というのはそんなに難しいものではありません。

良い「問い」を見つけるには

とは言え、ここで初学者の大学院生の皆さんを突き放してしまうのはちょっと不親切ですね。そこで、筆者が考える「問いの質を上げるためのアドバイス」を3つ挙げておきましょう。第一に、良い論文をたくさん読むことです。以前どこかで、絵画の贋作(ニセモノ)と本物との見分け方を尋ねられた美術の鑑定家が、「本物の良い絵をたくさん見ることです」と答えているのを聞いたことがあります。研究も同じです。初めは指導教員や先輩の助けを借りながら、質の高い論文を数多

く読みましょう。読んでいくうちに、「この研究は問いの質も解の質も高いな」とか「これは解の質があまり高くないな」とか、研究の良しあしを見分けることがだんだんできるようになるはずです。

第二に、関連した問いを共有し新しい答えを求めているコミュニティに加わって、そこでの既存の知識や問題関心を学び取ることです¹⁾。良い問いというのは多くの場合、関連する分野の研究者同士、同種の実践を行なっている実務家同士の間で共有されているものです。そういうコミュニティに積極的に加わることで、「今、こんな問いに関心が集まっている」とか「今後はこんな問いの答えが求められていく」といったさまざまな手掛かりが得られることでしょう。

そして第三に、これは量的研究に特化したものですが、統計的方法のパフォーマンスや可能性についての知識を得ることです²⁾。量的研究においてしばしば直面するのが、「問いがなかなか統計分析に載せるような形にならない」というつまづきです。逆に、問いを立てる段階から統計分析を視野に入れておくと、「問い」と「解」との関係が明確になり、解の質を上げることにつながります。初めにうまく問いを立てておけば、統計分析をスムーズに実行することができるのです。

それでは次回から、統計分析の各論的な内容へと話を進めていきましょう。

今回のエッセンス

- 研究の価値は「問いの質」と「解の質」で決まる
- 良い「問い」は「解の質」を高める

参考文献

- 1) 盛山和夫. 社会調査法入門. 有斐閣; 2004.
- 2) 南風原朝和. 量的研究法. 東京大学出版会; 2011.

医学書院ホームページ

毎週更新しております
医学書院の最新情報をご覧ください

<http://www.igaku-shoin.co.jp>

必要な医療・福祉サービスが見つかる! わかる! 活用できる!

医療福祉総合ガイドブック 2014年度版

医療・福祉サービスを利用者の生活場面に沿って解説したガイドブックの2014年度版。最新情報をフォローし、医療・福祉制度がより理解しやすくなるように解説を見直し、大幅刷新! 全国共通で利用頻度の高い制度から地域によって異なるサービス例まで、幅広く網羅しています。利用者からの相談に素早く、より確実に対応するための医療・福祉関係者必携の1冊。

編集 NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会
編集代表 村上須賀子 佐々木哲二郎 奥村晴彦



集中治療の“いま”を検証し、“これから”を提示するクォーターリー・マガジン

INTENSIVIST 2014年第2号発売

インテンシヴィスト 特集 ICUルーチン

●季刊/年4回発行 ●A4変 200頁
●1部定価:本体4,600円+税
●年間購読料19,008円(本体17,600円+税)
*年間購読は送料無料で、約4%の割引

編集委員
眞弓俊彦 産業医科大学救急医学講座
武居哲洋 横浜市立みなと赤十字病院集中治療部
藤谷茂樹 東京ベイ・浦安市川医療センター/
聖マリアンナ医科大学救急医学
[編集] 日本集中治療教育研究会(JSEPTIC)

責任編集 長谷川 隆一 眞弓 俊彦

目次

序章 ルーチンの功罪	[コラム] 頭高位は人工呼吸器管理患者のルーチン体位か?	13 末梢静脈カテーテル
第1章 ICUにおけるケア	第2章 ICUにおける検査・処置	第3章 ICUの環境整備・スタッフ関連
1 体位変換・褥瘡予防	7 レントゲン(胸部単純X線撮影)	14 ICUの面会事情
2 口腔ケア	8 採血・尿定性検査	15 清拭・環境整備と除菌
3 気管吸引	9 消化性潰瘍の予防・治療	16 バーンアウト予防
4 家族ケア(心理サポート)	10 ICU入室中の心房細動の予防・治療	17 「特集 ICUルーチン」解説
5 体温測定・クーリング	11 抗凝固薬の使用法	
6 カフ上部吸引孔付き気管チューブをルーチン使用してよいのか?	12 ICUにおけるリハビリテーション	

2009年 第1号: ARDS 第2号: Sepsis 第3号: AKI 第4号: 不整脈

2010年 重症感染症 CRRT 外傷 急性心不全

2011年 Infection Control モニター 栄養療法 急性肺炎

2012年 End-of-life 術後管理 PICU 呼吸器離脱

2013年 急性冠症候群 ECMO 神経集中治療 急性呼吸不全

2014年(予定) 疼痛・興奮・躁妄 ICUルーチン Severe sepsis & Septic shock(7月発売) PCAS(10月発売)

MEDSI メディカルサイエンス・インターナショナル 113-0033 東京都文京区本郷1-28-36 TEL 03-5804-6051 FAX 03-5804-6055 http://www.medsi.co.jp E-mail info@medsi.co.jp

Medical Library

書評新刊案内

防衛看護学

安酸 史子 ● 監修
志田 祐子, 平 尚美 ● 編

B5・頁180 2013年12月
定価:本体3,000円+税 医学書院
ISBN978-4-260-01916-3

【評者】南 裕子
高知県立大学長

「看護師たる自衛官を『看護官』と呼ぶ」という著者の冒頭の文章に新鮮な衝撃を受けながら読み続けるうちに、自衛隊の中で長年の間培われてきた防衛看護の知識体系に引き込まれました。自衛隊の任務を遂行する看護官の果たす役割の明確なことに舌を巻くと同時に、災害看護の組織化という点でも、示唆に富む経験知が豊か

長年培われた防衛看護の知識体系に引き込まれる



にあると感じました。第一に、本書の第1章が「災害看護」であることです。「災害看護」に続いて「国際平和協力活動における看護」「戦傷病看護」「健康管理」「メンタルヘルス」と章が並ぶのですが、基本的に防衛看護の知識体系は、われわれのいう広義の災害看護なのだということがわかります。加えて、災害看護の観点から見ると、視野が広がる内容が含まれています。

第二には、組織内での看護の役割が見えることです。阪神・淡路大震災以後、災害時の自衛隊の活動は日本においては重要な役割を果たすことが一般人にわかってきましたが、その中の看護の役割についてはあまり知られていないように思えます。この本を読むと、自衛隊の構造と機能がわかるとともに、災害時、有事、平時の看護官の役割が見えてきます。

看護は組織の中でいつも隠された存在になりやすいのですが、本書によって自衛隊の中の看護の見える化が促進

されると思われます。例えば、看護官は、自衛隊員等関係者と地域住民に区別して対象をとらえています。自分が所属する組織の人々を看護の対象としてしっかりととらえているところは新鮮でした。

第三には、自衛隊の看護官たちが培ってきた看護の考え方とノウハウが具体的に書かれてあることです。抽象論にとどまらず、制度や体制の中で看護がどの立ち位置にあるのかが見えてきます。「国際平和協力活動における看護」や「戦傷病看護」は、他の看護の教科書には見られない内容です。

さらに興味深いのは「健康管理」の章です。災害看護の現場では当然支援者の健康管理が大事ですが、自衛隊における健康管理はかなり組織的に定義されていて、具体的に何を意味するかがわかります。例えば、隊員の衛生教育について、教育目標分類学の認知領域、情意領域、精神運動領域の枠組みを一般の看護同様に用いていますが、情意領域の「価値づけ」では「中隊長は、訓練の合間であっても、隊員の『DOTSによる結核薬内服』に関する権利を擁護する」という明確な目標例を出しています。

本書にまとめられたこの知識体系は、自衛隊関係者や自衛隊の看護教育機関で活用されるだけではなく、看護界全体にとっても意義があるものと考ええます。

看護学教育における授業展開

質の高い講義・演習・実習の実現に向けて

舟島 なをみ ● 監修

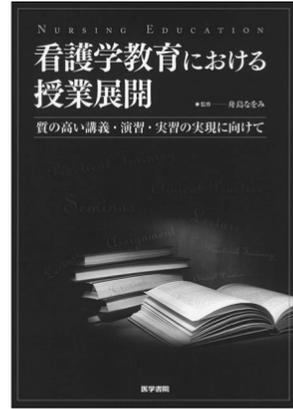
B5・頁240
定価:本体3,200円+税 医学書院
ISBN978-4-260-01688-9

【評者】大塚 真理子

埼玉県立大大学院教授・保健医療福祉学

看護は実践学である。私たちは具体的な看護現象を理論化し体系化しつつあり、それを教育している。看護学生や看護職者が理論を具現化して看護実践ができるように、講義や演習や実習という教授法で教育している。私のように老年看護学を専門としている者は、老年看護自体を教えることには自信があるものの、教育学を踏まえた教授法にはいささか不安を覚えることがある。そのような私にとって強い味方になってくれるのが本書の出版だ。

看護学の講義、演習、実習を展開する道しるべに



本書は教育学としての一貫した理論を看護学教育に活用し、看護学の教授法を体系化している。それは、監修者のもとで看護学教育を研究された大学院生や研究生たちの成果を基に成り得たものである。それぞれの修士論文や博士論文としてまとめられた研究によって、確かなエビデンスが蓄積された内容を集積・構成することで、看護教育学として体系化されたオリジナルの読み物となっている。その長年の研究成果はまさに賞賛に値する。

本書の活用としては、まず精読して看護学教育の教授法を体系的に学ぶことができる。また、授業案や評価法作りにも困ったり、実習の指導に悩んだりしたとき、研究計画書の作成などで必要な章を読んで学ぶこともできる。

第1章では「授業とは」「教授者とは」「学習者とは」「講義とは」など、基本的な教育用語を押さえることができる。さらに第2章では教育学の諸理論と授業展開の基本的な解説がありがたい。第3章からは看護学教育への応用展開である。看護基礎教育の対象を成人学習者として位置付け、「編入生」「短期大学生」「男子学生」それぞれの特徴についても研究を基に解説されている。看護実践でも教授法でも、対象理

解がまず重要であり、看護学生を看護学の初学者として尊重することを忘れてはいけない。さらに「教員の特徴」にも言及されており、教員としての自己を振り返ることができる。続いて第4章で「講義」、第5章で「演習」、第6章で「実習」について解説されている。それぞれ教授活動と学習活動という教員と学生の学び合う関係で解説されていることが特徴的である。

教育は学生と教員の相互作用であり、学び合う関係で成り立つという本書の教育者としての姿勢が貫かれており、大変共感できる。

本書は看護学を教育する講義、演習、実習を展開する方向性、すなわち道しるべを示してくれている。私自身の教育を展開するとき、本書を参考に自分が対象となる学生をどのように理解し、自分の教育者としてのスタンスがどこにあるのかを振り返らうと思う。そして老年看護学として自分が学生に伝えたいことを、講義・演習・実習という教授法でどのように表現するのか、それは学生との協同学習となるようデザインしてみようと思う。本書はそのためのヒントを与えてくれる。具体的な科目に落とし込み、創造的に作り出してみたいと思う。新学期の準備はこれでいこう。

●お願い—読者の皆様へ
弊紙へのお問い合わせ等は、お手数ですが直接下記担当者までご連絡ください
記事内容に関するお問い合わせ
☎(03)3817-5694・5695
FAX(03)3815-7850
「週刊医学界新聞」編集室へ
送付先(住所・宛名)変更および中止
FAX(03)3815-6330
医学書院出版総務部へ

シリーズ ケアをひらく

カウンセラーは何を見ているか 最新刊
信田さよ子
「聞く力」はもちろん大切。しかしプロなら、あなたも素人のように好奇心を全開にして、相手を「見る」ことが必要だ。では著者は何をどう見ているのか?そして「生け簾で自由に泳がせて生け簾ごと望ましい方向に移動させる」とはどういうことか?若き日の精神科病院体験を経て、開業カウンセラーの第一人者になった著者が、身体でつかみ取った「見て」「聞いて」「引き受けて」「踏み込む」ノウハウを一挙公開!
●A5 頁272 2014年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-02012-1]

坂口恭平 躁鬱日記
坂口恭平
ベストセラー「独立国家のつくりかた」などで注目を浴びる坂口恭平。しかしそのきらびやかな才能の奔出は、「躁のなせる業」でもある。鬱期には強固な自殺願望に苛まれ外出もおぼつかない。試行錯誤の末、彼は「意のままにならない(坂口恭平)をみんなで操縦する」という方針に転換した。その成果やいかに!
●A5 頁298 2013年 定価:本体1,800円+税
[ISBN978-4-260-01945-3]

シリーズ一覧

簡便とお花見 看護の語りの現象学
村上靖彦
●A5 頁416 2013年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-01861-6]

当事者研究の研究 編集 石原孝二
●A5 頁320 2013年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-01773-2]

弱いロボット 岡田美智男
●A5 頁224 2012年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-01673-5]

ソローニュの森 田村尚子
●B5変型 頁132 2012年 定価:本体2,600円+税
[ISBN978-4-260-01662-9]

その後の不自由
「嵐」のあとを生きる人たち 上岡陽江+大嶋栄子
●A5 頁272 2010年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-01187-7]

【新潮流ドキュメント賞受賞】
リハビリの夜 熊谷晋一郎
●A5 頁264 2009年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-01004-7]

【大宅壮一ノンフィクション賞受賞】
逝かない身体 ALS的日常生活を生きる
川口有美子
●A5 頁276 2009年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-01003-0]

技法以前 べてるの家のつくりかた
向谷地生良
●A5 頁252 2009年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-00954-6]

コーダの世界 手話の文化と声の文化
濫谷智子
●A5 頁248 2009年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-00953-9]

ニーズ中心の福祉社会へ
当事者主権の次世代福祉戦略
編集 上野千鶴子+中西正司
●A5 頁296 2008年 定価:本体2,200円+税
[ISBN978-4-260-00643-9]

発達障害当事者研究
ゆっくりていねいにつなかりたい
綾屋紗月+熊谷晋一郎
●A5 頁228 2008年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-00725-2]

こんなとき私はどうしてきたか
中井久夫
●A5 頁240 2007年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-00457-2]

ケアってなんだろう 編著 小澤 勲
●A5 頁304 2006年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-00266-0]

べてるの家の「当事者研究」
浦河べてるの家
●A5 頁310 2005年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-33388-7]

ALS 不動の身体と息する機械
立岩真也
●A5 頁456 2004年 定価:本体2,800円+税
[ISBN978-4-260-33366-6]

死と身体 コミュニケーションの磁場
内田 樹
●A5 頁248 2004年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-33366-6]

見えないものと見えるもの
社交とアシストの障害学 石川 准
●A5 頁272 2004年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-33313-9]

物語としてのケア
ナラティヴ・アプローチの世界へ 野口裕二
●A5 頁220 2002年 定価:本体2,200円+税
[ISBN978-4-260-33209-5]

第2回日本医学ジャーナリスト協会賞(2013)大賞受賞

驚きの介護民俗学

六車由実

●A5 頁240 2012年
定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-01549-3]

べてるの家の「非」援助論
そのままでもいいと思えるための25章
浦河べてるの家
●A5 頁264 2002年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-33210-1]

病んだ家族、散乱した室内
援助者にとっての不安全感と困惑について 春日武彦
●A5 頁228 2001年 定価:本体2,200円+税
[ISBN978-4-260-33154-8]

感情と看護
人とのかかわりを職業とすることの意味 武井麻子
●A5 頁284 2001年 定価:本体2,400円+税
[ISBN978-4-260-33117-3]

あなたの知らない「家族」
遺された者の口からこぼれ落ちる13の物語
柳原清子
●A5 頁204 2001年 定価:本体2,000円+税
[ISBN978-4-260-33118-0]

気持ちのいい看護 宮子あずさ
●A5 頁220 2000年 定価:本体2,100円+税
[ISBN978-4-260-33088-8]

ケア学 越境するケアへ 広井良典
●A5 頁276 2000年 定価:2,300円+税
[ISBN978-4-260-33087-9]

実習を強力サポート

- 動画で学ぶ看護技術 ●KAN-TAN看護の実習マナー
- 学研教育出版手紙文例集

国試対策コンテンツも充実!

- 看護師国試 必修チェック! ●KAN-TAN看護の計算・数式
- 保健師助産師看護師国家試験出題基準 平成26年版

試験勉強にも対応 便利な学習サポート機能

- ノート●マーカー単語帳●付箋●暗記カード

好評 発売中



使いやすさを上げ豊富な機能

- タッチパネル式のカラー液晶で、ラクラク操作
- さっと開いてすぐに使える
- 同時検索や「ジャンプ」機能など、便利な検索機能が満載
- 100,000語のネイティブ発音と動画で、英語学習も万全
- CD-ROMやデータカードでコンテンツの追加が可能

看護に必要な情報を、すばやく簡単に!

看護医学電子辞書9

ツインタッチパネル&ツインカラー液晶

学生から臨床ナース、教員まで、看護に必要な情報を幅広く掲載。学びつづける人のベストパートナー

IS-N9000

価格:本体 55,500円+税

JAN4580492610018

●製造元:カシオ計算機株式会社

医学書院

医学書院の看護系雑誌 6月号

<http://www.igaku-shoin.co.jp/>

HPで過去2年間の目次がご覧いただけます。

看護管理

6月号 Vol.24 No.6

1部定価:本体1,500円+税
冊子版年間予約購読料18,170円(税込)
電子版もお選びいただけます

特集1 新人看護職員研修の質向上に向けて 研修ガイドライン改訂から考える成果と課題

特集2 専門チームとの協働で病棟内急変を防ぐ! 患者・スタッフの安全を守る 院内急変対応システム

施設状況に応じたRRS導入と運用に向けて

巻頭シリーズ ▶ うちの師長会・主任会 学習する組織をめざして⑥ 長浜赤十字病院

特別記事 ▶ 認定看護師の活動を可視化するための質評価指標作成の取り組み 急性期病院における高齢者ケアの質向上を目指して①

TOPICS ▶ 看護職の働きたい気持ちをサポート
なごやナースキャリアサポートセンターの活動……………服部典子ほか



看護教育

6月号 Vol.55 No.6

1部定価:本体1,400円+税
冊子版年間予約購読料16,710円(税込)
電子版もお選びいただけます

特集 学生から看護師への ホップ! ステップ! を支える教育 一国試対策から、学ぶ習慣のつけ方まで

国試対策は学生が入学したときから始まっている……………島田千恵子

国家試験で問われる能力をどう育成するか……………池西静江

誠実を胸に刻むこと、ともに未来を語ること……………大日向輝美

合格へ導くために教員全員で支援……………尾田恵

学生自身が主体であることを意識づける……………船場清三

看護師国家試験全員合格に向けた取り組み……………畠山幸喜

焦点 ▶ 看護専門職を目指す皆さんに託したい先輩ナースの夢……………薄井坦子

特別記事 ▶ 教材としてのシミュレータを活かすには 授業設計(教授設計)を見直すことから始めよう……………織井優貴子

新連載 ▶ LGBT×看護学生×医学生 性と生の医療のはなし……………山下奈緒子/清水真央

好評連載 ▶ 専任教員養成講習会におけるeラーニングを活用後の報告……………森松薫/大内田由香

「医療安全力」を育むリスクアセスメントトレーニング……………齊藤奈緒美/石川雅彦

ナースよ、リアリストたれ! 中西睦子が語る看護と教育……………中西睦子/松澤和正

ひろがる災害医療と看護 身につけるべき知識とスキル……………内海清乃

看護実践力を育む教育方法の開発 日本赤十字広島看護大学の試み……………山本浩子/笹本美佐ほか



訪問看護と介護

6月号 Vol.19 No.6

1部定価:本体1,300円+税
冊子版年間予約購読料13,580円(税込)
電子版もお選びいただけます

特集 Buurtzorgとの邂逅 何を学び、どう活かすのか

Buurtzorg解体新書……………堀田聡子

Buurtzorgは日本の医療・介護の「文化」を変えるか 制度の違いを乗り越えて今こそ学ぶべきこと……………西村周三

Buurtzorgとの違いに学んだ今日本で取り組むべきこと 訪問看護団体として視察して……………宮崎和加子

Buurtzorgに出会って、こう変わった! こう進化した!……………片山智栄/松本京子/小堺武士/川添高志/須藤義/須藤藤子/三上薫/嶋田千奈美/村上智彦/永森克志/飯田大輔/佐藤伸彦/糸山めぐみ/森村敬子/星北斗

必要とされるあらゆるケア機能を統合する「地域看護」を Buurtzorgと「地域包括ケアシステム」の接点……………田中 滋

座談会 ▶ そうだ、今こそ学会へ行こう! ステーション管理者が率いる「現場が主役」の学会集いが11月に……………阿部智子、高砂裕子、伊藤きよみ、柴田三奈子、柏木聖代、川村佐和子

巻頭インタビュー ▶ ケアする人々29 Buurtzorg Nederland財団 Jos de Blokさん他 「チームスピリット」が人を、地域を、社会を変える Buurtzorgのフラットな組織運営の勘所……………聞き手:山本則子さん



助産雑誌

6月号 Vol.68 No.6

1部定価:本体1,400円+税
冊子版年間予約購読料16,060円(税込)
電子版もお選びいただけます

特集 母乳不足と補足を考える

新生児の生理と代謝の知識……………滝 元宏

補足の医学的適応……………中村和恵

補足基準の作成と実際 日本赤十字社医療センターの場合……………坂上とし子

母乳不足感と本当の母乳不足……………入部博子

補足をする理由—現場の困難感を探る……………田中奈美

乳児を守る環境と対策について「母乳代用品のマーケティングに関する国際規準」から考える……………三浦孝子

補足を勧める家族への支援……………黒澤かおり

連載 ▶ いのちをつなぐひとたち……………堀江敦子さん

コクランレビューに学ぶ 助産ケアのエビデンス 陣痛の緩和にはどの介入が効果があるのか?……………大田えりか

実践レポート ▶ 見た! 感じた! 国会議員の働く現場 助産師の思いを国政につなげていくために……………横山文子・新野由子



保健師ジャーナル

6月号 Vol.70 No.6

1部定価:本体1,400円+税
冊子版年間予約購読料15,420円(税込)
電子版もお選びいただけます

特集 統括保健師はなぜ必要か 市町村での役割を中心に

「統括保健師」の必要性和期待される役割……………中板育美

【豊田市】保健活動の総合的調整役としての統括保健師 組織改編を機にあらためての位置づけ……………鈴木和恵

【郡山市】系統立てて行えるようになった保健師業務 「機を読み」実現した統括保健師……………斎藤恵子

【京田辺市】人材育成事業を通じた活動と役割 機構改革を機に統括的役割を事務分掌に明記……………西川幸子

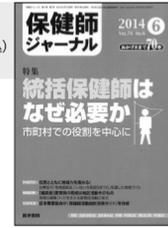
統括的立場に立った後輩たちへ 自分の「立ち位置」を振り返る……………日隈桂子

Topics ▶ 日本看護協会が「保健師活動指針活用ガイド」を作成 日本看護協会健康政策部保健師課

特別記事 ▶ 【座談会】愛育班の育成は地区活動そのもの 地域の健康づくりを支える愛育班活動に学ぶ……………大場工三/高橋菜津未/菅原千里/小川忍/中野洋子

Photo & Pick Up ▶ 「地域座談会」を通じた地域づくり その活動が保健師に与えた影響……………角園真枝ほか

Focus ▶ 英国における保健師の教育制度と増員計画 第1報……………岩本里織/Sally Kendall/Denise Knight



看護研究

5・6月号 Vol.47 No.3

1部定価:本体1,800円+税
冊子版年間予約購読料12,960円(税込)
電子版もお選びいただけます

特集 Mixed Methods Research と看護研究

Mixed Methods Researchの新たな幕開け……………抱井尚子

Mixed Methods Research 一覚悟をもって……………森岡 崇

Mixed Methods in Nursing Research……………Ardith Z. Doorenbos

特別記事 ▶ スウェーデンにおける看護学研究の展開 2……………クラスヨラン・サーレンほか

<翻訳>佐々木明子、津田紫緒、小林秀行 <コメント>佐々木明子、小林秀行

原着論文 ▶ 現代女性の月経経血および月経随伴症状に関する研究……………田淵康子、吉留厚子、伴信彦、草間朋子

SCOPE ▶ 異文化看護の最新の動向……………齋藤真希

連載 ▶ 統計学のキーポイント 3—「検定」に焦点を当てて……………高木廣文



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [販売部] TEL:03-3817-5657 FAX:03-3815-7804

E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp 振替:00170-9-96693